農業と肌でふれて…

盛況だった農業祭

十月二十七日から三日間にわたって、市民会館で農業祭が開かれました。市内の各農業関係団体や農業サークルのみなさんが中心になって、〝農業と肌でふれよう〟をテーマに、市民のみなさんに農業を理解してもらおうと開いたものです。新津市の農業の一大祭典にふさわしく、会場には盛りだくさんの催しが用意され、連日にぎわいをみせていました。

初日の二十七日からは、大ホールで農業に関する資料の展示をはじめ、農家のみなさんが手塩にかけた農産物の品評会や野菜の即売会が開かれ、主婦の人気を集めていました。また会場の一角には手づくりの果実酒や牛乳などの試飲会も開かれ、押すな押すなの盛況ぶり。

一方、ステージでは芸能祭も…。市内各地に残る伝統芸能の後は、BSNの公開録音で〝のど自慢〟が行われ、大倉修吾さんの愉快な司会に、つめかけた観衆から終始笑いがたえませんでした。

また二日目には秋晴れの下で「もちつき大会」も開かれました。ちょうど日曜日とあって家族連れの姿も多く、最近みられなくなった〝きね〟と〝うす〟でもちつきを楽しんでいました。

このほか、農業体験発表や農業を考える時局講演会も開催され、ゆれ動く農業問題について、真剣なまなざしで聞き入る人の姿が印象的でした。

屋外では楽しい「もちつき大会」も…

連日にぎわいをみせた農業祭

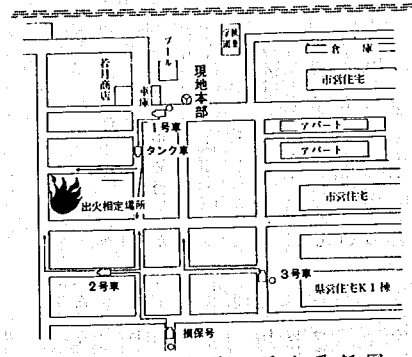
人気を呼んだ試飲コーナー

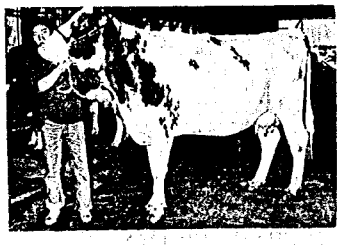
26日、新栄町で放水訓練を実施

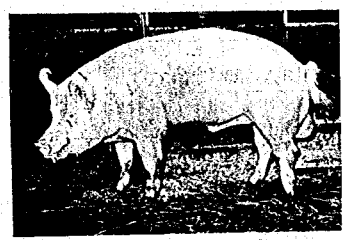
十一月二十六日から〝秋の火災予防運動〟が始まります。そこで消防本部では、運動初日の二十六日の午前九時から十時まで、新栄町地内で実戦的な消防訓練を行います。

当日は、参加する全車両がサイレンを鳴らして出動する予定ですが、本物の火災ではありませんのでご承知おきください。

なお放水場所は、図にあるように、新栄町西側の三〇番、三一番付近です。お近くの方は、干物などがぬれないよう、ご注意ください。また、放水で大量の水を使用しますので、一部の地域で水道の水がにごることも予想されます。あらかじめご了承、ご協力ください。







乳牛、豚、共進会で入賞

さきごろ長岡で開かれた県畜産共進会で、田村豊さん（上金沢）所有の乳牛（ホルスタイン種）が2等に入賞しました。体重650kgのグラマーです。（写真上）

また同じ共進会で、窪田亀次さん（大蔵）所有の大ヨーク種の種雄豚が優良賞に輝きました。（写真下）

お買物、ご用命は市内で

お祝い・お見舞・法事等に
〝特選フルーツ詰合せ〟
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3 TEL 3−0397

Toshiba 東芝
東芝ストア
より良いサービスと
楽しい暮しに奉仕する店
(株)八重電商事
本町二 TEL 4−3131(代)

新津の昔ばなし (31)

サルむこ

水沢謙一

とんと昔があったてんが。

あるとき、じじさが、山の畑の草とりしていたって。あんまり、草がひどくて、「やれ、なんぎや、この草とってくっるもんがあれば、おらに娘三人あるが、どれか一人くれようもの。」と、ひとりごとをいった。

ほうしると、山のサルが聞いていて、草とりして、娘もらう約束をした。じじさ、うちへきて、娘がサルのどこに嫁にいってくれたらいいがと、あんまりしんぱいして、ウンウンうなって、朝げ起きらんねえかった。ほうしると、一番娘がきて、お湯でも、おかゆでもやろうか、というた。山のサルのとこへいってくれというたら、このもうぐれじさとって、枕ぶっつけて、へやから出ていった。二番娘もそうだった。三番娘が、おれがいくといって、サルの嫁になった。

こんだ、節句がきて、じじさのとこへ里がえりすることになった。里のじじさのみやげに、餅ついて、サルが、うすごとかついでいって、谷川のほてに、サラが、まんまんと咲いていた。里のじじさに一枝折っていったら、どんげに喜ぶやらと、娘がいうので、サルが、うすをおろして、木にあがろうとした。餅が土くさくなるというので、うすをせおって、サルはサラの木にあがった。「このへきて、里のじじさに、サルが流れていったことを話したら、それはいいかったと、じじさも喜んだと。

いちごプランとさがった。カモのしりごが、とんがった。

〈解説〉新津市の山谷二丁目の茨木さんから、十月に聞いた。「サルむこ」の話は、たいていの人が知っている、開口一番の昔話で、もっとも普及している。それだけに古くからの昔話であろう。結末が二つにわかれる。一つは本話のように、サルがサクラの花とりに木にあがって落ちて流れる。もう一つは、谷川の一本橋をわたるとき、うすのなかの餅をトーンとついて、谷川へおとす話となっている。

（日本口承文芸協会理事）

土田雲外と山田江秋が協力して製作した「新津八景」の一部

画人土田雲外 俳人山田江秋 遺作展

お出かけください

図書館では、新館開館一周年記念行事の一つとして「画人土田雲外と俳人山田江秋の遺作展」を開きます。

大正年代から昭和初期にかけ、郷土を舞台に絵画や文芸に広く活躍した画人土田雲外と俳人山田江秋の遺作を一堂に集め、郷かしい業績をしのぶ「遺作展」です。展示会場には、雲外・江秋とその関係者の遺作、掛幅・屏風・衝立をはじめ、色紙・短冊・雅印など数十点が展示されます。ぜひお出かけください。

♡とき…十一月二十日～二十四日の午前九時三十分～午後五時

♡ところ…図書館二階展示室

土田雲外 市内下新の出身で、本名は作次郎といいます。若くして絵画の道に志し、上京して、あて川深水の門に学びました。帰郷後も研さんを重ねて業大いに進み、多くのすぐれた作品を残しましたが、生涯清貧に甘んじ、昭和十一年十一月、世を去りました。春秋わずか四十九年でした。

山田江秋 大鹿の出身で本名を市太郎といいます。十五歳で宮名の俳匠梓渕天江に師事して技をみがき、その天稟の才は、当時県下俳壇の一方の雄とうたわれ、多くの名句を残しました。ことに雲外との合作「新津八景」などは、郷土を詠み郷土を描いた傑作として、古きよき時代をしのぶ必見の好資料となっています。江秋は、雲外が没してわずか二か月後の昭和十二年一月、六十七歳で亡くなりました。

スキー映画と講演会が開かれます——＊

スキーシーズンを迎えて、「スキー映画と講演会」が開かれます。お出かけください。

□とき…十一月二十八日の午後六時三十分～九時三十分

□ところ…視聴覚センター

□内容 映画…「日本スキー教程」、「グルノーブル冬季オリンピックの記録」 講演…浦佐スキー場指導員

なお入場には会員券（四百円）が必要です。入場券は横野スポーツ店、高塚文具店で取扱っています。

お買物、ご用命は市内で

表具
鈴木つしや
一級技能士 訓練指導員 鈴木正義 本町3☎2−2035

市役所前
靴のイザワ
靴なら
何でも揃うイザワ
＊あるく楽しさをお届けする——＊
TEL (2)0625